



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2014 **12**



11月6日(休)、兵庫県民会館において兵庫県・兵庫県生協連 共催「第17回監事研修会」を開催。19生協37名が参加しました。兵庫県生協専門検査員 税理士・公認会計士 押田 大輔 氏より、監査の基本、決算関係書類等の見方、勘定科目別監査のポイントなどをわかりやすくご講演いただきました。(関連記事 P.3)



生活協同組合コープこうべ
常勤理事

山添 令子
(やまぞえ・れいこ)

少しだけ無理をして、 人の役に立つ喜びを

私がコープこうべ(当時の「灘神戸生協」)に入所したのは、1981年(昭和56年)、コープこうべ創立60年にあたる年でした。6月には創立60周年記念式典が開催され、東京から来神された賀川豊彦夫人のハルさんと4世代にわたる組合員家族が登壇されたことを、今でも強烈に記憶しています。同時に、生協設立とほぼ同時に組織された「家庭会」の記録が、『私たちの歩み〜婦人活動60年』として編纂されました。私は幸いなことに当時広報部門に所属しており、ヒアリングの同行や資料収集のサポートに加わることができました。

この経験から感じたのは、コープこうべの歴史的特徴の一つは、組合員主婦による自主的な組織「家庭会」の存在と、その取り組みが現在の組合員活動のすべての源流となった点ではないかということです。創立60年のこの時期は、高度経済成長を背景に組合員数が急激に増加し、それに対応するために自主的組織である「家庭会」を解散し新しい組合員組織づくりに着手した時期でした。但

し、その精神は脈々と受け継がれ、その後もさまざまな活動がうまれていきました。当時の家庭会の指導者、永谷晴子さんの言葉が残されています。少し長文ですが、以下に引用してみます。

「よく知っているとかわらないで、まず謙虚に学びましょう。学ぶ心を失ったら、その人の進歩は止まってしまいます。しかし、知ることだけでは行動をおこす力にはなりません。その知識が腑に落ちて、初めて本物の行動力になります。良いとわかったら周りの二人に伝えましょう。そして、ちょっとだけ無理をしても、人の役に立つ喜びを味わいましょう」

いまコープこうべでは、ワークショップやワールドカフェ等の方式を活用し組合員学習や職員教育を進めています。手法は違っても、学びを行動につなぎ、より良いことを生きた言葉で周囲に広げることが生協運動の基本である。ことを認識させてくれる言葉です。

大切に守るべきことと改革すべきことをしっかりと見極め進んでいきたいと、改めて思いました。

CONTENTS

- | | |
|--|---|
| 2. 想点 | 5. 単協通信 ろっこう医療生活協同組合／
たじま医療生活協同組合 |
| 3. 兵庫県・兵協連共催「第17回 監事研修会」報告／
「ひょうご安全の日推進県民会議 総会」報告／
新春トップセミナーのご案内 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 4. 第2回共済生協部会 研修会 報告／
兵協連「第2回東日本被災地支援活動」報告 | 7. 兵庫県のページ |
| | 8. 第10回初級経理学校、第13回税務・経理講習会のご案内／
1.17ひょうごメモリアルウォーク2015のお知らせ／
県連日誌／編集後記 |

第17回

兵庫県・兵庫県生協連 共催 「監事研修会」を開催

11月6日(木)、兵庫県民会館において兵庫県・兵庫県生協連共催による「監事研修会」を開催。この研修会は、生協運営の健全な発展に果たすべき監事の役割と監査の実務のあり方を学び、今後も健全な生協運営を実施していただくために計画したもので、当日は19生協から37名が参加しました。

はじめに、兵庫県企画県民部消費生活課 主幹 西谷美貴氏より「監事の役割と指導検査で見受けられる問題点」と題し、監事の役割や運営面・経理面での指導検査での問題点について講演をいただきました。

次に「決算書の見方と監査のポイント」と題して、税理士・公認会計士（兵庫県生協専門検査員）・押田 大輔 氏より、監査の基本、決算関係書類等の見方、勘定科目別監査のポイントなどについてご講演いただきました。また、参加した役職員・監事からは「講義の中の勘定科目ごとの監査のポイントは日常の業務の中でも“注意すべきポイント”ですので参考になりました」「今年、指導検査があるので指摘、講評事項等は参考になった」「事例をあげて、もう少し詳しい内容の説明もあるとよい」「監事さん同士の交流もはかりたかった」などの感想が寄せられたほか、熱心に質問を行い監事監査に対する関心の高さが感じられました。



監査のポイントについて熱心に聴き入る参加者



兵庫県生協専門検査員
押田 大輔 氏

教訓を学ぶ、危険を知る

～「阪神淡路20年-1.17は忘れない-」ひょうご安全の日推進県民会議 総会～報告

11月17日(月)、兵庫県民会館において、兵庫県「阪神淡路20年-1.17は忘れない-」ひょうご安全の日推進県民会議 総会が行われ、構成団体のひとつである兵庫県生協連事務局3名が参加しました。

「ひょうご安全の日県民会議」では、阪神・淡路大震災20年を前に、毎月17日を「減災活動の日」に定めて、地域での取り組みを推進しています。今回は、構成団体を代表して6団体より「減災活動」の取り組み報告が行われ、兵庫県生協連 三宅 康平 専務理事が「阪神・淡路20年の取り組み状況報告」と題して、7月「国際協同組合デー」、9月「災害対策委員会」「兵庫におけるポスト国際協同組合年を考える集い」、10月「兵庫県生協大会」など、震災20年をテーマに実施した取り組みを報告。「命を守る4つの実践」（耐震化・室内安全・備蓄・避難）に加え、地域の防災・減災活動に参加し、地域のつながりを大切にすることが減災につながる」と話しました。

また、兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）の状況報告や、阪神・淡路大震災復興住宅で健康相談を実施した兵庫県看護協会の「まちの保健室」の取り組みが東日本大震災の支援活動にもつながっていることを報

告。兵庫県立大学学生災害復興支援団体（LAN）の福島県相馬市での農業支援の報告や、神戸市からは、地震発生時の3つの安全行動「①姿勢を低く②頭を守って③動かない」の手軽な防災訓練「シェイクアウト訓練」の来年1月の実施についての報告がありました。最後に、人と防災未来センター 河田 恵昭 センター長が「震災で学んだ経験と教訓を発展させ、あらゆる災害に備える」ことの大切さを訴えました。震災20年の節目を迎える、来年1月17日(土)に開催される「ひょうご安全の日のつどい」。「伝える」「備える」「活かす」を県内各地で呼び掛け、次代につなげる取り組みが広がっています。



ひょうご安全の日推進県民会議 会長
井戸 敏三 兵庫県知事が挨拶されました



被災と復興の教訓について報告
する三宅 専務理事

2015年 兵庫県生協連 第10回 新春トップセミナーのご案内

■開催日時：2015年 1月10日(土) 14時～17時

■スケジュール：

▼14時～15時15分

記念講演会（トップセミナー）／県民会館12階「1202」

▼15時30分～17時

賀詞交換会／県民会館7階「鶴」

■参加対象：会員生協・団体 理事長、常勤(非常勤)理事、監事、職員、
兵庫県生協連 理事・監事

■定 員：80名

■参加費：お一人 3,000円

■記念講演：

「消費者市民社会の実現に向けて
～生活協同組合への期待～」

■講 師：公益財団法人消費者教育支援センター

総括主任研究員 柿野 成美氏

■参加申し込み・お問い合わせ：

兵庫県生協連 TEL 078-391-8634

組合員の掛け金を守り、組合員のための共済を

～2014年度 兵協連 共済生協部会 研修会～

11月12日(水)、兵庫県民会館において「共済生協における組合員対応上の法務ノウハウ・知識」をテーマに「共済生協部会 研修会」を開催。共済生協の役職員、事務局あわせて17名が参加しました。この研修会は弁護士 寺尾 祐志 氏を講師に迎え、共済事故多発者や共済金詐取行為、反社会的勢力などへの留意点を、具体的事例をふまえながらお話いただきました。

共済生協は、組合員への最大奉仕「助け合い」を理念としていることから、実務上の毅然とした法務対応が必要となる事案や場面に際し、新たな法務的課題に合わせた事業体制や業務フローが必要になることも多くなっています。



講義される 弁護士
寺尾 祐志 氏

参加者からは「いろいろな事例を聞くことができて参考になりました」「反社排除の条項の導入を検討したい」「組合員の貴重な掛け金を守る」という気持ちで対応することが大切と分かった」などの感想が寄せられました。

この研修会では、共済事業を取り巻く環境が厳しさを増すなかで、共済の不正請求に対しては、組合員のみならずお預かりした大切な掛け金の適正な運用を行うっていくために、改めて「組合員のための共済」の気持ちを新たに事業推進していけるよう取り組みます。



被災者に寄り添う継続した支援を…

～兵協連第2回「東日本被災地支援活動」報告～



いも煮会で交流を深めました

会員生協の尼崎医療生協、神戸医療生協では、発災以来宮城県亘理郡山元町を中心に定期的、継続的な生活支援活動を行っています。兵庫県生協連では、9月に続き、11月7日(金)～8日(土) 山元町花釜地区での支援活動に、生活クラブ都市生活 丹治耕造さん、宝塚医療生協 田中剛さん、兵庫県生協連 三輪 薫 事務局次長の3名が参加しました。

7日夜、槻木町の「虹の架け橋復興支援センター」に到着。神戸医療生協3名、民医連、学生メンバー5名の方々と翌日の打合せをしました。

8日午前、各県1か所保存の震災遺構に決定した中浜小学校を視察。次に、旧 JR 山下駅横の「みんなの写真館」を見学しました。

その後、花釜地区の「地域訪問」では、ご家族の健康状態や自治体への要望などの聞き取りを実施し、「震災後、地区内にあった個人商店の閉店が続き、これまで近くで出来ていた買い物などができなくなり、不便になっている」「津波で傷んだ家のリフォームや建て替えのため、出費がかさんでいる」ことなどを伺いました。また、牛橋区民会館にて「健康チェック」も行いました。

昼食時、牛橋区民会館での「いも煮会」に参加。みやぎ県南医療生協の児玉常務が合流され、午前中の活動についての報告と意見交換を行いました。

午後は、みやぎ県南医療生協の渡辺さんのご案内で、亘理町鳥の海、亘理町千年の丘、岩沼市仙台空港近辺、名取市関上地区、若林区荒浜地区など被災地を視察しました。

山元町での支援活動はこれからも続いていきます。会員生協の中で独自の活動ができない場合は、こうした活動へ合流させていただくことで、被災地の現状を知ることができ、また活動を通して生協が果たしている役割を学ぶことができます。参加者同士の交流や情報交換も進みました。みやぎ県南医療生協作成の「被災地支援3年の取り組み」DVDの貸し出しが可能です(兵協連までご連絡ください)。兵協連は今後も支援活動への参加を呼びかけていきます。



支援のみなさまと旧 JR 山下駅にて

ろっこう医療生活協同組合

被災地・岩手県大船渡市へ

仮設で歌体操

ろっこう医療生協では、東日本大震災被災地支援を続けています。この度、10月いっぱい、職員と組合員を岩手県大船渡市に順次派遣、各仮設に暮らす被災者との交流や支援を行ってきました。

事前に練習して臨んだ、脳トレにもなる歌体操を仮設住宅に暮らす被災者と一緒に実演。「ミカンの花咲く丘」「大きな栗の木の下で」の歌をみんなで歌いました。参加者からは「楽しかった」「毎日、お風呂上がりに体操しています、今日から歌体操を取り入れます」「ミカンの花咲く丘は、十年前の学芸会以来。白いスカートをはいて歌ったことを思い出し、なつかしかった」と好評。また、「津波は予報が出てから直ちに身ひとつで高台に逃げればいい。しかし地震はいつ来るかわからないので、津波より地震が恐ろしい」と印象的なお話も聞かせてもらいました。

市内のスーパーでは、「写真返却中」の幟が立ち、津波で散逸した持

ち主不明の写真が掲示されていました。中には婚礼の写真も多くあり、胸を熱くした支援行動でした。

(通信員 古市賢二)



たじま医療生活協同組合

生協強化月間中の取り組み

9月25日(木)豊岡市の新田地区公民館で、生協強化月間スタートダッシュ企画として「2014健康チャレンジスタート集会」を開催しました。豊岡市の運動指導員、浦上美佐子先生をお招きして、正しいウォーキングのしかたを学びました。先生のお話が終わったあと、歩き方のレッスンを受けました。笑顔で歩くことも大切とのこと、十分ストレッチをしたあと、みんな笑顔で軽やかに歩きました。

10月8日(水)今話題になっている、朝来市の竹田城跡に21人で行きまし



約400人が来場



一段が高い石段

た。好天に恵まれたうえ歩きやすい道だったので、おしゃべりをしながら楽しく散策できました。城下の町並みを眺めながら昼食を楽しみ、その後城跡を一周しました。所どころガイドさんがいて、丁寧に説明してくださいました。けが等なく、全員元気に秋の一日を楽しみました。

10月19日(日)ろっぽう診療所駐車場で、第16回健康まつりを開催しました。昨年は雨で中止でしたが今年は晴天で、約400人が来場しました。よさこい、バランスボール、太鼓、フラダンス、うたごえ等たくさんイベントで盛り上がり、手作りのおいしい食べ物も大好評で完売しました。

10月24日(金)秋のグラウンドゴルフ大会を、京丹後市の「花ゆうみ」で行い、59人が参加しました。豪華賞品、昼食、温泉付きで、日帰り旅行気分が味わえた」と好評でした。

(通信員 春木圭介)

JF (一財)兵庫県水産振興基金

淡路島の生サワラ丼 販売開始！ ～「淡路島サワラ食文化推進協議会」の挑戦～

洲本市五色町は明治以前からサワラ漁が盛んな地域であり、今もサワラが「市の魚」に指定されています。このサワラは、往時から大漁時に地域住民へ振舞われたり、田植え作業の無事の終了を祝う魚として食べられていたとのこと。そのような食文化を伝承しようと今年度から、JF五色町（播磨 孝次組合長）をはじめ五色町商工会、地域飲食店、市、県からなる「淡路島サワラ食文化推進協議会」を立ち上げ、食文化の再興とともに地域の活性化に取り組んでいます。

10月7日(火)には“文化を伝えるには、子供たちの理解が重要”と 同市立都志小学校6年生を対象に料理教室を開き、サワラの刺身やタタキのほか、醤油とミリンで作ったタレをかけた「ヅケ」をご飯の上に載せた「生サワラ丼」を作り、少し食べた後にサワラのアラでとった出汁を掛けて食べる郷土料理「サワラ茶飯」を作りました。児童からは「サワラはこれまであまり食べたことがなかったが、とても美味しい。家で作れそう」と好評でした。また、「食文化継承とともにサワラで地域の活性化にも繋げよう」と五色町を中心に市内外の飲食店9店舗が「淡路島で獲れた生のサワラを使う」ことをルールに料理の提供を開始しました。ヅケ丼、サワラ茶飯にアレンジを加えた料理などを千円台で提供し、地域に大小2種類のノボリを立てて10月26日(日)から淡路島の新名物料理として売り出しました。また同日、ウェルネスパーク五色で行われた「秋のふれあい青空市」で、今回の取組みに連動したイベントを開催。生サワラ丼約250食を振る舞ってPRに努めました。

淡路島で今年年間50万食以上を売上げる「淡路島の生シラス丼」に続けと始動したこの取組みに、今、期待が高まっています。

※洲本市のホームページ、五色町商工会ホームページにて「島の漁師飯 淡路島の生サワラ丼」のパンフレットを掲載しております。提供店舗はホームページからご確認ください。



「秋のふれあい青空市」では播磨組合長が手渡して生サワラ丼をPR



好評だった「サワラ茶飯」

JA 兵庫西

地元産大豆で食育教室

JA兵庫西西播磨営農生活センターは9月25日から4日間、上郡町立上郡中学校で「地産地消料理教室」を開き、2年生127人が地元産の大豆を使って木綿豆腐とおからドーナツ作りに挑戦しました。

同JA女性会西播磨地区と協力して、2004年から開催。毎年、同中学校や上郡小学校などを中心に、地産地消の大切さを伝える食育活動に取り組んでいます。今回の教室では地元産の大豆7キロを使用しました。

26日には、生徒32人が豆腐作りに挑戦。女性会員7人が講師となり、ミキサーにかけた大豆を鍋で煮たり、こし袋で豆乳とおからを分けたりする作業を協力して取り組みました。生徒は「初めて自分で豆腐を作りました。地元産なのでより美味しく感じます」と完成を喜びました。

同女性会の小谷美恵子会長は、「自分で作る楽しさや食の大切さがわかってもらえればうれしいです。子どもたちとの賑やかな食育活動で、私たちも元気もらっています」と話しました。



地元産大豆で豆腐を作る生徒ら



最近の消費生活相談事例

インターネット通販で買った商品が届かない!!

事例

激安ネット通販で有名ブランドの靴を注文し、指定口座に商品代金7,000円を振り込んだ。事業者から「発送しました」とメールが届いたが、商品が届かない。何度も督促のメールを送ったが、事業者から返信がない。どうしたらよいか。

【アドバイス】

「ネット通販で商品を注文し、前払いしたが、商品が届かず連絡が取れない」という相談が多く寄せられています。

通信販売の事業者は、特定商取引法により、「事業者名、所在地、電話番号」などを正しく表示することが義務付けられています。しかし、事例の事業者のホームページには、電話番号の記載がありませんでした。商品代金をクレジットカード決済した場合は、カード会社に相談して、支払の停止や返金手続きなどを依頼できる場合があります。しかし、銀行振込みなどで前払いしている場合は、返金は困難です。警察に相談するとともに、代金を振り込んだ金融機関にもトラブルの経緯を伝えましょう。

海外事業者の運営サイトであっても、日本語で書かれているため、それと気づかず利用してしまうケースがあります。サイト内の日本語が不自然であるときなどは、特に注意が必要です。

事前に事業者の所在地や連絡先などの情報をしっかり確認しましょう。メールアドレスしか記載されていないサイトでの取引は危険です。日本国内の所在地が記載されていても、番地の記載がなかったり、実在しない所在地の場合があります。電話番号についても、いつも話中であったり、応答がない状態で連絡がつかないといった場合もあります。所在地や電話番号が実在するかどうかを自分で確認しましょう。

少しでも疑問や不安を感じた場合には、すぐに、お近くの消費生活相談窓口にご相談ください。
(兵庫県生活科学総合センター)

MOVE

兵庫県生協連では「初級経理学校」「税務・経理講習会」を独自で開催しています。
2015年開催の日程が決まりましたので、ご案内いたします。

第10回「初級経理学校」のご案内

経理担当者の初歩からの人材育成をめざして、生協簿記の基礎知識から決算関係書類作成までをていねいに指導します。

日程：1/14(水)、15日(木)、20日(火)、21日(水)、22日(木)

会場：兵庫県民会館 受講料：お一人 20,000円(昼食費、交流会費含む)

*ただし、テキスト代は実費を徴収します。

講師：三宅 充氏 (MMコンサルティング代表)

カリキュラム (1) 生協簿記の基礎知識 (2) 取引と仕訳 (3) 主な勘定科目の説明 (4) 決算手続き・試算表の作成・精算表の作成 (5) 貸借対照表と損益計算書・剰余金処分案の作成 *講義・演習問題・練習問題の繰り返し



第13回「税務・経理講習会」のご案内

税務経理の諸問題等についての合同の講習会とクラス別の講習で、生協の税務と経理の実務について学びます。

日時：1日目：2/17(火) 9時30分～18時、2日目：2/18(水) 9時30分～18時

会場：兵庫県民会館 受講料：●会員生協：無料／●関連子会社：お一人 5,000円

*ただし、昼食代・テキスト代は実費を徴収します。

講師：江藤 俊哉氏 (税理士)、三宅 充氏 (MMコンサルティング代表)、

宮田 正樹氏 (西宮市職員生活協同組合 統括部長)

クラス別講習内容：(1) 初級クラス (定員20名)

・内容：①税務・経理・財務管理の基本 ②簡単な設例に基づく税務申告書の書き方

(2) 中上級・関連子会社 (株式会社) クラス (定員20名)

・内容：①設例に基づく税務申告書の作成 (演習含む) ②上級者用設例による解説

参加申し込み・お問い合わせ：兵庫県生協連 TEL. 078-391-8634

阪神淡路20年

～1.17は忘れない～

震災時を思い起こしながら、緊急時の避難路、救援路を歩き、防災意識を新たにするとともに、ゴールとなるHAT神戸・なぎさ公園で開催される「1.17のつどい」に参加しませんか。

開催日：2015年1月17日(土)

参加費：無料 (事前申込要)

●事前参加申し込み・お問い合わせ

ひょうご安全の日推進県民会議 事務局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1(兵庫県復興支援課内)

TEL:078-362-9984 FAX:078-362-4459

*電話でのお問い合わせ時間……9:00～17:30 12/29～1/3、土日祝は除く。

～ひょうご安全の日のつどい～

1.17ひょうごメモリアルウォーク2015

～東日本大震災被災地の復興を応援します～

コース名	スタート会場	スタート時間
東15kmコース	西宮市役所(西宮市六湛寺町)	午前 8:00
東10kmコース	芦屋市川西運動場(芦屋市川西町)	午前 8:30
東2kmコース	王子公園補助競技場(神戸市灘区)	午前 11:00
西15kmコース	須磨海浜公園(神戸市須磨区)	午前 8:00
西10kmコース	県立文化体育館(神戸市長田区)	午前 8:30
西5kmコース	神戸市立中央体育館(神戸市中央区)	午前 9:00
子ども(親子)ウォーク	神戸市立中央体育館(神戸市中央区)	午前 9:00
西5kmコース		

このほか、事業所・学校などの単位で、災害時帰宅困難者の徒歩帰宅訓練を目的として実施する「帰宅訓練ウォーク」もあります。

*当日開催の有無は、ひょうご安全の日公式サイトほか、電話案内(0180-991-546)でもお知らせします。

主催：ひょうご安全の日推進県民会議

ウォーク
コース

編集後記

先日、テレビで「ふなっしー」と「トリーの達人」の対談番組を観ました。ハイテンションな、しゃべる「ゆるキャラ」とはいえ、どんなトークになるのか興味深々。「ゆるキャラ」の中に入れる(と)か言ってはいけないのかしら? 対談時間の制限もありながら、達人の鋭い突っ込みとの掛け合いを楽しみました。

兵庫県のマスコット「はばタン」に会うときも(密かに)テンションが上がる私は、食べ過ぎて「着ぐるみ」みたいになっても、「私、着太り、するの?」(汗)という言い訳で乗り越えて(?)来ました。美味いものオンパレードの年末年始をどう乗り越えるか課題です。☆来年も、「兵協連だより」をどうぞよろしく願っています。

みなさま、よいお年をお迎えください。
(中尾)



- 12月1日(月) 兵協連第4回理事會 (県民会館 1201)
- 12月3日(水) 兵庫JCC第3回幹事會 (県民会館 ばら)
- 12月8日(月) 兵協連 第2回大学生協部會 (県民会館 ばら)
- 12月15日(月) 兵協連第2回 ピースアクション委員會 (県民会館 ばら)

県連日誌